


YAMAKADO NEWSLETTER

NO.134

2011/01/22


山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会


次の10年に向かって踏み出す年です


 これからの10年を考える会員(11/01/08)

2011 年が始まりました。この 10 年で「山門水源の森」の生物多様性をどのように保全してゆくかの道筋はおおよそ確立できたのではないかと思います。次の 10 年に向けて中期の保全活動の目標を議論する必要があります。それには 5 月に実施する「記念シンポジウム」で大いに議論したいものです。今年も年末からの積雪の中恒例となった元旦の「守護岩詣」に 9 名が参加し、浅井会員の制作してくれた注連縄を交換し、本年の活動の安全と会員諸氏のご健勝を祈念してきま

した。さて森ではほぼ毎日、量には多少はありますが降雪が続いており守護岩では 13 日で 100 cmを、湿原では 17 日に 100 cmをそれぞれ超えました。昨年夏から沢コースが手軽に湿原まで登れるということで好評ですが、この積雪期は大変危険です。規模は小さいですが、各所で雪崩が発生し斜面のルートは完全に塞がれています。加えて沢そのものも積雪で覆われている部分もあります。沢の凍結現象等興味ある対象が多いのですが、特殊な観察以外は使わない方が賢明です。どうしてもという場合は複数で利用するようにして下さい。もちろん他のコースも完全な冬装備でお出かけ下さい。この場合も単独行は避けた方がいいでしょう。積雪期の湿原を歩くのは爽快な気分になれますが、そこにも落とし穴があります。積雪量が 1m 前後では未だ安心して歩けません。積雪の下流路や灌木の埋まっている部分では、落ち込むこともあります。この時期は湿原の縁を歩かれることをおすすめします。


 「守護岩詣」今年は9名(11/01/01)


 新雪のブナ林を行く(11/01/08)

した。さて森ではほぼ毎日、量には多少はありますが降雪が続いており守護岩では 13 日で 100 cmを、湿原では 17 日に 100 cmをそれぞれ超えました。昨年夏から沢コースが手軽に湿原まで登れるということで好評ですが、この積雪期は大変危険です。規模は小さいですが、各所で雪崩が発生し斜面のルートは完全に塞がれています。加えて沢そのものも積雪で覆われている部分もあります。沢の凍結現象等興味ある対象が多いのですが、特殊な観察以外は使わない方が賢明です。どうしてもという場合は複数で利用するようにして下さい。もちろん他のコースも完全な冬装備でお出かけ下さい。この場合も単独行は避けた方がいいでしょう。積雪期の湿原を歩くのは爽快な気分になれますが、そこにも落とし穴があります。積雪量が 1m 前後では未だ安心して歩けません。積雪の下流路や灌木の埋まっている部分では、落ち込むこともあります。この時期は湿原の縁を歩かれることをおすすめします。



11/01/05



11/01/18

前ページに書いた沢沿いコースは、積雪が増えると左の写真の状態になります。さらに積雪が増えると左右の斜面からの雪崩も沢に入り完全に沢が隠れてしまうことがあります。

林内を歩くときもう一つ注意した方がいいことがあります。降雪

後何日かは樹冠に着雪が残っています。その場合朝方冷え込むとこの着雪の一部が凍っています。これが落下して頭部に当たることがしばしばあります。したがって頭には厚めの帽子を着用するといいいでしょう。時には氷柱が落ちてくることもあります。



落雪注意

湿原の縁が安全

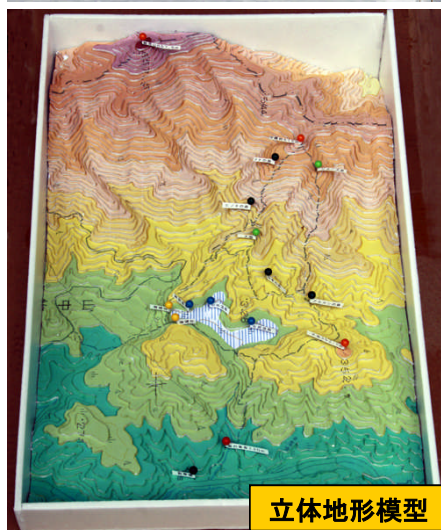


中央湿原の雪の芸術(11/01/13)



晴れた雪の中央湿原(11/01/13)

こんなことに注意を払って訪れる森には、素晴らしい景観が待っています。



立体地形模型

田中S・田中T 会員が山門水源の森周辺の1/5000の立体地形模型を作成してくれました。見事な出来映えで森によく来る会員もうなるほどです。地形図を見慣れない訪問者に、当地のコース説明には最適です。次回来訪時にご覧下さい。

日々森の楽舎に出入りするには、県道からの入り口で先ず県道の除雪車により積まれた雪を取り除き、後は車の威力次第で楽舎までということになりますが、今年は既に3回浅井会員が除雪機で除雪を行ってくれました。人力でこれをやろうとすれば3人がかりで丸1日かかってしまいます。ありがとうございます。楽舎の周りの除雪は当然人力です。



展望場から望む湿原(11/01/18)



除雪機で・・・(11/01/18)